

一般会計決算4日間集中審査

9月議会

8/23～9/22



予算決算常任委員会

令和2年度一般会計決算は、議長・議会選出監査委員を除く全議員が出席しての予算決算常任委員会で9月10日から15日まで、4日間にわたって集中審査が行われました。日本共産党の山岡・小西・岡田議員は評価すべき点、問題点を指摘し、令和3年度予算の執行、令和4年度予算に活かすよう積極的に発言しました。令和3年度補正予算については賛成、令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定については、小西議員が反対討論を行いました。尚、今議会より各常任委員会も本会議と同様に、あいコムこうか・インターネットを通じて中継が実施されました。録画中継も視聴可能。

議案チェックは議員の役割

予算決算常任委員会は、冒頭、総合的質疑とコロナ対策に対する審査を、その後部局ごとに審査を行い、最終日の15日には、再び総括質疑を行い、その後討論・採決となりました。また令和3年度の補正予算に対する質疑、採決も行われました。

今委員会での質疑は、事前の通告制とされました。事前通告をしたのは、日本共産党の3名と無党派の竹若・糸目議員、凜風会の橋本律・谷永・西村議員、志誠会の森田・戎脇

議員、公明党の堀議員の11名のみ。結局4日間の審査中、志誠会の里見議員、公明党の白坂議員は、一度も発言しませんでした。

決算は歳入歳出両面からチェック。特にコロナ禍のもとで、市民のいのちと暮らしを守る施策が講じられているか、税金の集め方・使い方について、ひとつひとつチェックするのが議員の役割です。一度も発言をしないなど議員の責任を果たしているとは言えません。

小西喜代次議員の反対討論 (要旨)

令和2年度決算は、コロナから市民の命と暮らしを守る決算になっているかどうか最大のポイントである。

- ① 感染防止、コロナ封じ込めの対策としてPCR検査は、「県が一元的に進めるもの」として市独自に取り組みできなかった。クラスター発生の防止には、感染リスクが高い施設等での検査実施が必要なのは言うまでもない。
- ② 市内事業者への一律給付など積極的な施策があったが、実態に合わない支援もあった。関連経費の殆どは国・県からの支出で対応できている。市民の実態に即した対策が必要。
- ③ コロナ禍のもと、市民の生活応援、福祉向上からの視点で見ると、医療費の中学卒業までの無料化、給食費の負担軽減・無償化、コミバスの改善など市民の願いに十分こたえた決算とはなっていない。
- ④ 令和2年度は業務の効率化、人件費を削減するとしAIの導入、デジタル化、アウトソーシングなどが推進された。また会計年度任用職員制度の導入により公務員制度そのものの転換が図られた。コロナ禍の教訓からも必要な人員配置と、本来的な行政サービスの向上、住民自治の機能強化の観点での検証が必要。

総務常任委員会

山岡光広議員

第4次甲賀市行政改革大綱が提案され審議されました。山岡議員は、行政の無駄をなくし、効率的な行政運営を行うことは必要なことだが、提案されている「行政改革」は、職員を削減し民間導入するなど「行政サービスの産業化」に道をひらくものだと指摘し、反対討論を行いました。

産業建設常任委員会

小西喜代次議員

野洲川基幹水利施設特別会計、水道事業・下水道事業会計決算、市道路線の認定、第2次総合計画案などが審議されました。下水道使用料の改定についての報告もされました。

厚生文教常任委員会

岡田重美議員

令和2年度病院事業、診療所事業、介護老人保健施設の決算認定、国民健康保険・後期高齢者医療介護保険特別会計決算の認定等について審議がされました。岡田議員は、国保・後期高齢者・介護保険の3つの特別会計について、高い保険料などが負担になっていることから反対の討論を行いました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2021年 9月19日 第374号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696